

かかりつけ医・家庭医のための めまい・耳鳴り診療のキーポイント

日時：平成23年8月28日（日）10：00～15：00

講師：野村 泰之 日本大学医学部附属板橋病院 耳鼻科外来医長 場所：大田区産業プラザ

めまいがするような猛暑も峠を越し、風に秋の近づきを感じられた8月28日、日本大学医学部附属板橋病院 耳鼻科外来医長の野村泰之先生を講師に迎え、東京都大田区の大田区産業プラザP10において「めまい・耳鳴り診療のキーポイント」をテーマにMHS医学臨床セミナーを開催いたしました。

見えない「めまい」を解決してあげないと患者さんの笑顔は見られない！

今回のセミナーは野村先生のこだわりで、セミナーを「ツアー」と銘打ち、『ツアーのように楽しく学び、いい収穫を持ち帰ろう』を目的におこなわれました。

ワークショップ形式ではよくありますが、最初にアイスブレイクとして先生が自己紹介をし、参加者全員に参加の目的や自由に好きなことを発表してもらってからセミナーが始まりました。また、終了時には全員から感想を述べてもらい今回のツアーは終了いたしました。

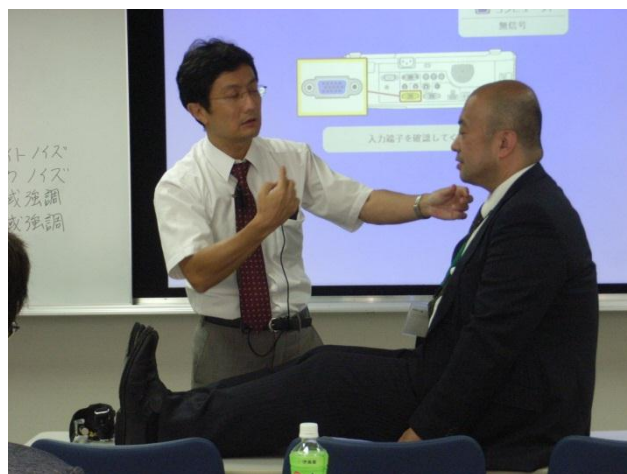
セミナーのキャッチフレーズは「見えないめまい、見えるめまい、見極めるコツ、厄介な症状、耳鳴り患者さんたちの笑顔を取り戻そう」でした。

痛みもそうですが、耳鳴りやめまいは患者さん自身にしか判らないことが多くそれだけに厄介な症状でもあり、医者もモヤモヤが取れない疾患です。それだけに問診がかなり大切であり、よ～く話を聞いてあげて共感をし、なぜであげるなどのスキンシップで症状が和らぐことが多いとのことでした。

めまいの原因にはさまざまな疾患があり、それだけに横断的な症候であるため、内科、耳鼻科、整形外科、脳外科、神経内科、心療内科、精神科、眼科、婦人科等多くの診療科で診ることになりますが、最初は耳鼻科にかかるケースが多いようです。

それゆえ、めまいには分類法がいくつかあります。慢性的な（つきあっていく）めまい：危ないめまい、浮動性めまい：回転性めまい、中枢性めまい：末梢性めまい：その他のめまい等に分けられ、各々の細かい注意点を解説してくれました。

9月25日にストレス疾患の江花先生のセミナーもありますが、その他のめまいの「心因性めまい」が近年特に増加しているそうです。



眼振検査のデモンストレーションをする野村先生

耳鳴りを完治させることは非常に難しいようですが、気にしなくさせる方法にはなるほどと思いました。私は耳鳴りが無いので耳鳴りをよくわかりませんが、エアコンに集中すると気になる音がテレビに集中すれば全く気にならなくなります。今回は解剖学的な講義も多かったですが、体の仕組みを知れば知るほど、その精密さと機能に驚かされます。

次回セミナーは9月3日（土）、機械振興会館で北垣先生により「軟膏・外傷処置」と4日（日）伊藤先生により「血液疾患」をテーマに2日間の連続開催です。

土曜日のセミナー後は北垣先生を交えての懇親会も行いますのでお楽しみにお越しください。